

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2020 Series Round-5 / AUTOPOLIS

(2020.12.12-13)

www.brp.gr.com

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13

BRP
BIRTH RACING PROJECT

新型コロナウイルスの影響で大きくレーススケジュールに遅れが出ており、季節外れの真冬に第5戦オートポリスが開催されました。チーム一丸となってノミスでレースを展開しますが、思い通りのレース展開にならずに、5時間のレースをST-Zクラス6位でレースを終えました。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2020年12月12日～12月13日に開催された「スーパー耐久シリーズ第5戦 オートポリス」において、GT4勢唯一の小排気量のNAエンジン搭載のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRで、日本一標高の高い場所にあるオートポリスとの相性は非常に悪く、予選では案の定後方に沈み、決勝レースは荒れたレース展開を期待しましたが、終始レース展開は荒れる事無くチームは一丸となってノミスで走り切りますが、ST-Zクラス6位でレースを終えました。

【12月10日(木)フリー】

全てのドライバーが揃い、本格的なレースウィークがスタートしました。福田選手・塩津選手はオートポリスの走行経験が浅い為、彼ら2名を中心としたLAPタイムの向上の為に走行メニューを組み、エースの松本選手により予選・決勝レースに備えて勢力的にセットアップチェックと練習走行を行いました。



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13

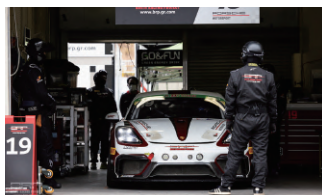
BRP
BIRTH RACING PROJECT

【12月11日(金)フリー】

金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。国内初導入のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRのパフォーマンスアップの為にセットアップを積極的に進め。国内初導入の車両という事もあり、今年は車両の熟成を高める期間として設定しており、とにかく周回を重ねて経験値と実績の蓄積を図ることに専念しました。

【12月12日(土)公式予選】

公式予選がいよいよ始まりました。Aドライバーの福田幸平選手が、1'58.351のタイムでクラス7位で予選を終えました。続くBドライバーの松本武士選手は福田幸平選手を凌ぐ1'56.570を記録しますが、クラス6位となりましたが、A・Bドライバーの合算タイムで明日の決勝レースは6番手からのスタートとなりました。続くCドライバー塩津祐介選手・Dドライバー奥村浩一選手も確実に予選基準タイムをクリアーして予選を終えました。



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【第5戦オートポリスST-Zクラス予選結果】

Aドライバー: 福田 幸平	コース: DRY	タイヤ: スリック	1'58.351	クラス7位
Bドライバー: 松本 武士	コース: DRY	タイヤ: スリック	1'56.570	クラス6位
Cドライバー: 塩津 佑介	コース: DRY	タイヤ: スリック	2'00.433	クラス6位
Dドライバー: 奥村 浩一	コース: DRY	タイヤ: スリック	2'01.541	クラス4位

1位	No.2	ケースフロンティアSYNTIUM KTM	3'50.264
2位	No.47	D' station Vantage GT4	3'52.527
3位	No.500	5ZIGEN AMG GT4	3'52.546
4位	No.3	ENDLESS AMG GT4	3'53.041
5位	No.23	TKRI松永建設AMG GT4	3'53.345
6位	No.19	BRP★SUNRISE-Blvd 718 GT4 MR	3'54.921
7位	No.21	STP with Studie BMW M4 GT4	3'55.664
8位	No.20	SS/YZ BMW	3'56.014



【12月13日(日)決勝】

スタートは福田幸平選手が務めました。車両の最大限のペースでライバルを追従してレースを展開していきます。続くエースドライバーの松本武士選手もノーミスでライバルに追従しますが、順位を上げるまでにはいかずに、そのまま塩津佑介選手に交代して全ドライバーノーミスでレースを展開しますが、コース上のレース展開は荒れる事なく、時間だけが過ぎ去っていき、ルーティン通り最後には再び松本武士選手に交代して最後まで諦めずに走り切りますが、予選順位同じST-Zクラス6位でレースを終えました。

【第5戦オートポリスST-Zクラス決勝レース結果】

1位 No.3	ENDLESS AMG GT4	145	5:02' 09.653
2位 No.47	D' station Vantage GT4	145	5:02' 34.458
3位 No.2	ケースフロンティアSYNTIUM KTM	144	5:02' 02.004
4位 No.500	5ZIGEN AMG GT4	144	5:02' 31.074
5位 No.23	TKRI松永建設AMG GT4	144	5:02' 57.752
6位 No.19	BRP★SUNRISE-Blvd 718 GT4 MR	144	5:03' 25.018
7位 No.20	SS/YZ BMW	143	5:02' 08.514
8位 No.21	STP With Studie BMW M4 GT4	142	5:03' 33.765



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

今回のオートポリス戦はBRPが今季S耐に投入している、PORSCHE 718 Cayman GT4 MRには鬼門ともいえる最大に相性の悪いサーキットとなります。標高が高いサーキットの為ターボ勢が圧倒的に有利であり、非常に高低差もあるサーキットの為、排気量やパワーが非常に有利に働くサーキットですが、PORSCHE 718 Cayman GT4 MRは小排気量のNAエンジン搭載の為、予想通り非常に厳しいレース結果となりました。FIA GT4は非常に優秀なBoPにより管理されており、各車両の性能差が非常に僅差で管理されていますが、オートポリスのような世界的にみても標高の高い位置にあるサーキットは少なく更にコースのレイアウトも非常に独特の高低差のあるサーキットである為どうしても車両の特性に翻弄されてしまいましたが、チームとしては非常に良い経験を積むことができたと感じております。

この悔しさをバネにして最終戦地元鈴鹿に向かって全集中・猪突猛進でチーム一丸となって戦って参ります。この場を借りましてご支援・ご声援頂きました、すべての皆様に感謝とお詫び申し上げます。また引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。

株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 12.12-13



■BRPパートナー企業



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com